

◎D-ソルビトール経口液 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 D-ソルビトール (U) D-Sorbitol 【分類】 糖類下剤

【単位】 ◎75%液 (興和)

【常用量】 ■便秘：75%液として5～60mL/日 [7mLがソルビトール5gに相当すると換算する]

【用法】 分割投与 [1回量を増やすより投与回数を増やすのが効果的とされる]

【透析患者への投与方法】 便通コントロール状況に合わせて10～40mL/日を分割投与 (5)

【その他の報告】 投与量は便性状により適宜増減する。カリメート服用時には75%ソルビトール液として10～20mLを2時間おきに服用し1日1～2回の水様便が出る程度に用量を調節する。これによりカリウムの除去を早め、便の硬化・停滞を防ぐことができる。食品・飲料に添加してもよい (U)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 浸透圧下剤の作用があるためカリウム吸着レジンとともに服用し、便秘を抑えることができる。マグネシウム含有下剤を連用することのできない腎不全患者に有用な下剤のひとつである。炭酸カルシウム、クレメジンなどの腸管通過障害を起こす薬剤による便秘（硬い塊糞状の便が少量しか排泄されないタイプの便秘）には、本剤投与によって便中の水分を増やし、便容量を増やすことによって排便を促進できる。

【主な副作用・毒性】 腹痛、下痢、腹部膨満、放屁など

【代謝】 グルコースと異なりインスリン非依存的に肝細胞に入り、肝細胞において活性の高いソルビトールデヒドロゲナーゼによりフルクトースに代謝され、フルクトースはフルクトキナーゼにより、フルクトース-1-リン酸となり解糖系において代謝されると推定 (1)

【排泄】 糞中排泄 (1)

【MW】 182.17

【透析性】 資料なし (1)

【更新日】 20220623

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。